

企業名： 野村総合政策所

---

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

野村総合研究所(以下 NRI とする)が目指す姿は明確に理解出来る。

NRI は、コンサルティングと IY ソリューションが合体した"コンソレーション"を会社が目指すべき姿として統合レポートに記載している。代表取締役会長兼社長の此本臣吾氏によると、『トップダウンにより DX が一気に加速していく中で、私は経営層との信頼関係の大切さを改めて強く認識するようになりました、経営層と覚悟を受け止め、同じスピード感で必要なリソースを提供し、信頼を勝ち取ることで継続的に戦略パートナーとしてお選び頂けるよう心掛けています。そうした信頼関係を築き上げていく上で、強力な差別化要因となるのが NRI 独自のコンソレーションだ』と語っている。分析と提案、IT の構築、オペレーション！データの更新と蓄積という 4 つのステップを繰り返していくことで、顧客の満足度を高め！価値を創出できると考える。ビジネスが高度化した現代社会において、複雑な情報を正確に分析し最適な方法を見極める手助けをすることは非常に困難であるため、NRI のヴィジョンは本質を捉えている。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

NRI の競争優位性は明確に理解出来る。

### 1. 強固な顧客基盤

大企業との長年の取引関係で得たノウハウ、経験、信頼関係の蓄積は、安定な収益を確保するだけでなく、新たな顧客を創出する手助けにもなっている。

## 社会・関係資本の競争優位性

NRIは、業界トップクラスの企業との長期的な取引関係の中で、ノウハウを蓄積してきました。さらに、そのノウハウを基に共同利用型サービスを提供することで、より多くのお客様との継続的な取引関係を構築しています。

### システム開発・運用 アウトソーシング



### 共同利用型サービス



1965年創業 ▶ 1970年代 ▶ 1980年代 ▶ 1990年代 ▶ 2000年代 ▶ 2010年代

## 安定的な収益構造

NRIは、共同利用型サービス、運用アウトソーシングやエンハンスメント(保守・運用)など継続性の高い事業が6割を超える安定的な収益構造を構築しています。

### 売上収益 (億円)

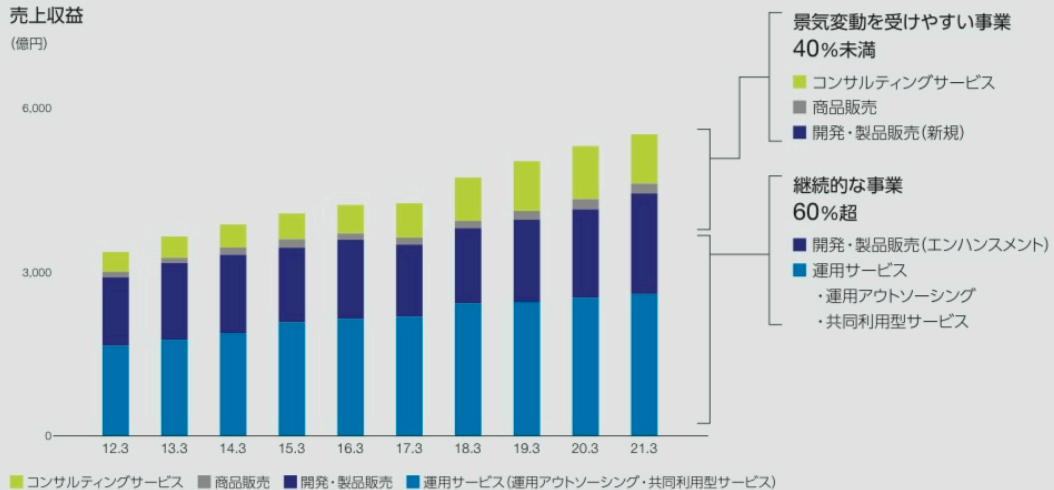


図1

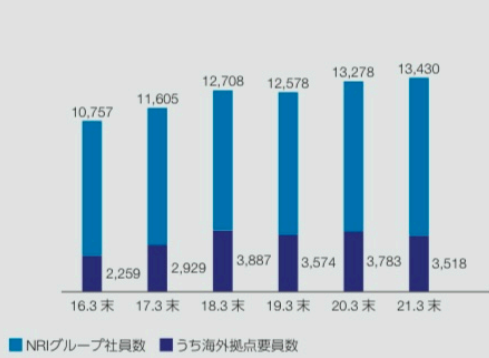
## 2.層の厚い人材

NRIは人的資産の育成に力を入れていて様々な成長機会提供が成されているため、高度な専門性を持つ人材を確保することができる。

## 人的資本の競争優位性

NRIは、国内・海外拠点の社員が連携してサービスを提供しています。  
また、高度な情報処理技術を持つプロフェッショナル人材を多数抱えています。

NRIグループ社員数・海外拠点要員数  
(名)



資格取得者数  
(名)

(集計対象: 単体)	19.3末	20.3末	21.3末
情報処理技術者試験(高度)※1	6,726	6,856	<b>6,824</b>
ITコーディネーター	207	240	<b>254</b>
Project Management Professional	299	320	<b>336</b>
ITIL Manager/Expert/Intermediate	70	68	<b>77</b>
証券アナリスト検定会員	245	246	<b>246</b>
公認会計士	16	15	<b>12</b>
中小企業診断士	46	48	<b>46</b>
一級建築士	10	10	<b>10</b>
電気通信主任技術者	107	108	<b>86</b>
パブリッククラウド関連資格取得者※2	94	543	<b>1,442</b>

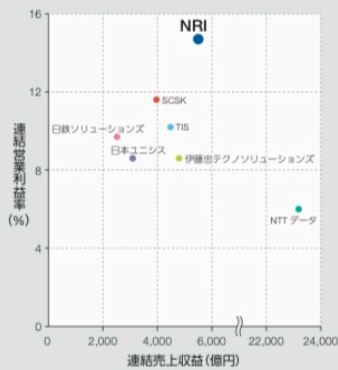
※1 旧制度下で実施された「システムアナリスト試験」「上級システムアドミニストレーター試験」「情報セキュリティスペシャリスト試験」「情報セキュリティアドミニストレーター試験」の合格者数を含む延べ人数  
※2 AWS認定資格、Google Cloud認定資格(GCP)、Microsoft Certified(Technology Azure)の合格者数の延べ人数

## 高い収益力と生産性

NRIは、国内外の同業他社と比べて、トップレベルの収益力(連結営業利益率・EBITDAマージン)と生産性(1人当たり連結売上収益・営業利益)を維持しています。

連結売上収益・営業利益率比較

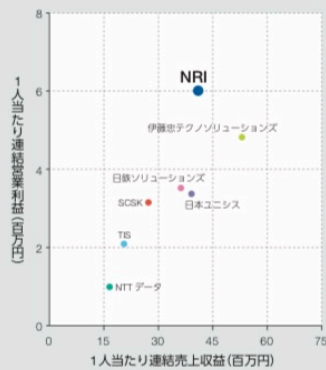
(2021年3月期)



(出所) 各社決算資料よりNRI作成

従業員1人当たり  
連結売上収益・営業利益比較

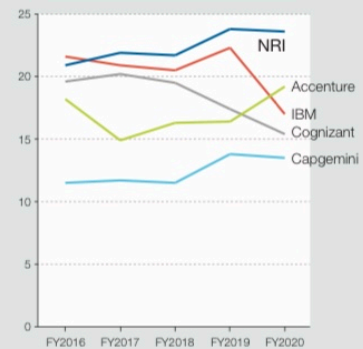
(2021年3月期)



(出所) 各社決算資料よりNRI作成

EBITDAマージン比較

(%)



(出所) SPEEDAよりNRI作成

図 2

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

NRIの競争優位性の持続性は明確に理解出来る。

図2を参照するとよく分かるが、NRIは高い収益率を誇り、従業員1人あたりの売上も高いので高収入が期待できる会社である。よって高度な専門性や技術力を持つ人材の獲得も以後安定して期待できる。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

NRIの競争優位性の持続性は明確に理解出来る。

図2を参照するとよく分かるが、NRIは高い収益率を誇り、従業員1人あたりの売上も高いので高収入が期待できる会社である。よって高度な専門性や技術力を持つ人材の獲得も以後安定して期待できる。

#### 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

売上予測などは多く見られたが過去の動向はあまり記載されていなかったため、十分な説得力を持たせるためにもより多くの収益データを記載すると良いと考えた。